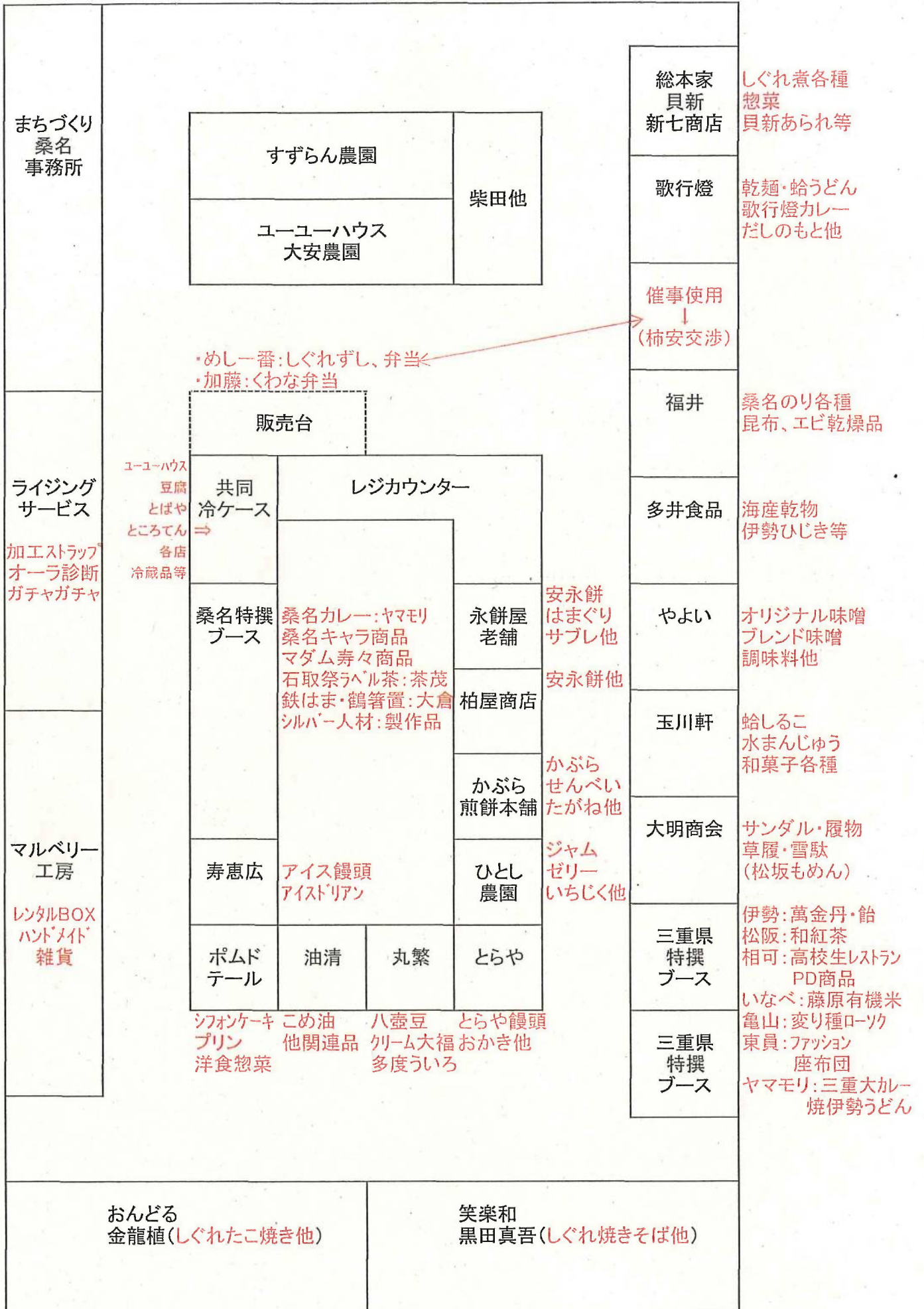


桑名市政記者クラブ資料

内 容 (テーマ)	まちなかみちの駅「くわな まちの駅」
日 時 (時期)	プレオープン：平成24年10月17日(水) AM9:40～ 正オープン：平成24年10月18日(木) AM9:00～
場 所	桑名市北寺町49 寺町通り商店街内
特 記 事 項	<p>くわなのまちなかに「くわなまちの駅」がオープンします。 桑名市や近郊の特産品、土産物、銘菓、名品をブース出展方式で一堂に集めたほか、地産地消を意識し、農場、農家直納の新鮮な野菜、果物等の直売コーナー、三重県の名品、起業家支援事業の一環としてチャレンジショップ方式で出店を募ったハンドメイド工房や桑名の新グルメ開拓を目指す有志が出店しています。 市内初の試みとして、中心市街地活性化の一環を担うべく、桑名の新しい情報発信の場として、市内外の方に愛される店舗づくり、店舗企画の実践に努めて行く所存です。</p> <p>出店、出品店舗：桑名市内35、市外12 特色：市内名品を組み合わせた「桑名の玉手箱」の販売 (商品のチョイスは自由) 運営：株式会社まちづくり桑名 営業：不定休、AM10:00～PM4:00 (三八市開催日は9:00開店)</p> <p>※オープニングセレモニーを開催します。</p> <p>日時：10月17日(水) AM9:40～ 場所：桑名市北寺町49 寺町通り商店街内 来賓(予定)：桑名市長、桑名商工会議所会頭、 寺町通り商店街振興組合理事長ほか</p>
担 当	株式会社まちづくり桑名 総括部長 小林昌士
電 話 番 号	0594-22-8522 (090-1562-9380)
提 出 日	平成24年10月10日(水)



桑名寺町商店街内に開設



まちなか「みちの駅」

くわな まちの駅

まちなか「みちの駅」KMS987
Kuwana Machinaka Station



桑名の特産品
土産物・地産物が
勢揃い!
折角桑名に
来たんなら!

10月17日(水)プレオープン

10月18日(木)オープン

桑名ことば:遊ぼうよの意味

桑名寺町商店街で遊ぼう!

- 名産・特産品
- おみやげ
- 生鮮食品
- 工芸品

桑名市が誇る土産品、名産品、地場の新鮮野菜・フルーツ、工芸品など、桑名の特産品が一挙集結！
観光にご休憩に…美味しいもの、楽しいものいっぱい！見るだけでも楽しめる！まちなか「みちの駅」くわなまちの駅へ是非一度お立ち寄りください！



まちのえき運営会社
株式会社

まちづくり桑名

事業所: 桑名市桑栄町1-2・桑名市北寺町49
TEL 0594-22-8522
FAX 0594-27-7600



まちの駅へは、裏面の散策地図を参照下さい。



くわな「まちの駅」なら
おみやげなら
くわな「まちの駅」



時間があれば
九華公園も
おすすめ
スポットだよ!



レンタサイクルを
利用する場合は
まずコチラ!

吉之丸コミュニティパーク
広々とした芝生広場から、
揖斐・長良川の流れを眺望できます。

花街かいわい
歴史ある料亭・飲食店が
並び情緒ある通りです。

九華公園
桑名城本丸と二之丸跡に
造られた壮大な公園です。

海蔵寺
薩摩藩総奉行平田頼負他21基の墓石が
現存し、市の指定史跡
となっています。

桑名寺町商店街
くわな「まちの駅」
桑名の特産品・土産物
が揃っています。

春日神社
石取祭が8月の第1土日
に行なわれます。

① 六華苑 およそ0m

和洋の様式が調和した明治・大正期を代表する貴重な文化遺産であり、国の重要文化財に指定されています。

入場料 一般[高校生以上] 300円
中学生 100円

※小学生以下は付き添いを要します。

定休日 毎週月曜日(祝日の場合翌日休館)

時間 午前9時～午後5時まで
※但し入苑時間は午後4時まで

電話 0594-24-4466



② 諸戸氏庭園 およそ300m

室町時代に「江の奥殿」と呼ばれた屋敷を、明治時代に実業家・諸戸清六が買い取り、庭園を拡張しました。国の名勝にも指定されています。

入場料 大人 500円
小人(小学生以下) 200円
幼児(3歳以下) 無料

定休日 毎週月曜日(祝日の場合翌日休園)

時間 午前10時～午後5時
※但し入園時間は午後4時まで

電話 0594-25-1004



③ 桑名寺町商店街 およそ600m

桑名の中心市街地に位置する、昭和の香りが残る商店街。積極的にイベントを打ち出す他、くわな「まちの駅」もあります。

イベント 三八市(さんばちいち)

南北250mに渡る寺町通り商店街で3と8のつく日に開催され、人出が絶えることはありません。昭和の始め桑名別院を中心に、参拝客相手の門前前商店街として発展したこの名物朝市です。



④ 石取会館 およそ900m

石取祭を紹介している施設です。館内展示の漆仕上げの祭車は、江戸時代末期の作で、当時の技術の粋を集めたものです。

※石取祭(いしとりまつり)
8月の第1土日に行なわれる桑名の熱いお祭り。日本一やかましい祭りといわれています。

入場料 無料

定休日 毎週月曜日(祝日の場合翌日休館)

時間 午前9時～午後4時30分

電話 0594-24-6085



⑤ 桑名市博物館 およそ1,000m

昭和60年に三重県初の市立博物館としてオープンしました。桑名藩と萬古焼関係の収蔵物が充実しています。

入場料 無料(特別の場合は除く)

定休日 月曜日(祝日のときは開館)

祝日の翌日(日曜日のときは開館)

展示品入替期間

時間 午前9時～午後5時まで

※ただし入館は午後4時30分まで

電話 0594-21-3171



⑥ 桑名城城壁跡 およそ1,500m

正面の堀川東岸(三之丸地内)の城壁は、桑名城城壁の一部。約500mが現存し、市の文化財に指定されています。

戦前までは南大手橋から京橋裏、それに三之丸立教小学校横まで堀川は続いていましたが、終戦直後、またたく間に埋め立てられました。この城壁には老松が並木を作り、枝は堀へ垂れ、川水は満々と美しく、行き交う荷船で賑わいました。



⑦ 七里の渡跡 およそ1,600m

熱田・宮の渡しから海上七里を船に乗り、桑名の渡しに着いたことから「七里の渡」と呼ばれています。

当時は、東海道の42番目の宿場町として大賑わいを見せていました。ここにある大鳥居は、これより伊勢路に入ることから「伊勢国一の鳥居」と称され、伊勢神宮の遷宮ごとに建て替えられています。



⑧ 歌行燈句碑 およそ1,700m

泉鏡花がここを舞台に名作「歌行燈」を書き上げました。のちに「歌行燈」を戯曲化した久保田万太郎が詠んだ句碑が船津屋表塀に建っています。

旅籠「湊屋」とうどん屋で、それぞれ身の上話をする男女。2人が再会するまでの一夜を描いた名作の舞台。湊屋のモデル「船津屋」とうどん屋のモデル「歌行燈」は今も残っています。



⑨ 住吉神社 およそ1,800m

桑名は古くから伊勢湾、木曾三川を利用した広域的な舟運の拠点港として「十楽の津」と呼ばれ、木材や米等の集散する自由活発な商業都市として発達してきました。住吉浦は、廻船の舟溜りで、全国から多数の廻船業者が集まってきました。この人々たちによって航海の安全を祈り、住吉神社(現大阪市)から勧請してこの住吉神社が建立されました。



⑩ 住吉浦休憩施設 およそ1,900m

無料レンタサイクルの貸し出しを行っております。家族や恋人同士で市内散策してみたいかがでしょうか。

料金 無料
保証料100円
※返却時にお返しします。

時間 午前9時～午後4時まで

電話 0594-23-3010

